

11月末まで  
早割実施!

生成AI時代のDX推進に必要な  
リテラシーを身に付ける

ケースで考える

# 「デジタル技術と倫理」 入門コース

オンライン・全6回

- 第1回 2024 / 1 / 11 (木) 「IoT 技術と社会」
- 第2回 2024 / 1 / 25 (木) 「自動運転自動車の社会実装」
- 第3回 2024 / 2 / 8 (木) 「AI 技術と社会」
- 第4回 2024 / 2 / 22 (木) 「brain-computer interface と社会」
- 第5回 2024 / 3 / 7 (木) 「Privacy by Design」
- 第6回 2024 / 3 / 21 (木) 「技術と社会」

## 参加対象

- デジタル技術によるビジネス創出をする方
- デジタルサービスを開発・提供する方
- デジタルにかかわる技術部門・開発部門の方
- 「デジタルと倫理」の考え方を学びたい方

## 講師

村上 恭一 氏

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授  
協創&競争サステナビリティ学会理事 / 価値創造フォーラム 21 顧問

**JMA** 経営革新を推進する  
一般社団法人日本能率協会

E-mail dx@jma.or.jp TEL : 06-4797-2050



オープンバッジ発行対象

全日程への参加・事前課題の期日までのご提出など一定の基準を満たした場合は、世界共通の技術標準規格に沿って発行されるデジタル証明・認証である「オープンバッジ」を発行いたします。

## 開催のねらい

生成 AI の利用が進み、新しい技術・サービスが生み出される昨今、グローバルでは「倫理」の問題が数多く議論されていますが、自社ではどうでしょうか。日本では、グローバルと比べると、なかなかその議論に至っていないのが現状です。

良い技術にもかかわらず、倫理を無視したりリリースの仕方が原因で新規事業が市場から退場を余儀なくされるケースが多々あります。そして「倫理的な知識があれば事前に防げたかもしれない」ということが少なからず見受けられます

一方、日本でイノベーションが起きづらい要因の一つとして、「オーバーコンプライアンス」が挙げられます。「法令遵守が日本を滅ぼす」とかつて言われた様に、「やってはいけない」という予防倫理の考え方では、技術者を委縮させてしまうだけです。

だからこそ、重要になるのが「志向倫理」です。志向倫理の対義語として従来型の予防倫理（規範倫理）の考え方は、事故・けが・危険が起きないように予防するのが技術者の倫理であるという考え方です。そのため、かつての「～してはいけない」という予防倫理から、「～を変えたい」という志向倫理への変化が起きており、技術者はその適応が求められます。つまり、社会をこうしたいという姿をめざして考えを巡らせることが重要です。

本コースでは、志向倫理を掘り下げて、技術と社会との関係についての勘所を、事例で学ぶとともに、対話を通じて養っていきます。

## コースの特長

### 1 倫理的・法制度的・社会背景を踏まえた技術の社会実装についての勘所を養う

ものづくりなら製造してから繰り返し検査するという考え方で良かったものが、デジタルでは作る前に考え抜くことが求められます。そのため、本コースでは、「Ethics by Design」を対話で行い、「技術と倫理」、つまり「技術と社会」の関係を考えます。

### 2 事例「を」学ぶのではなく、事例「で」学ぶ

生成 AI、自動運転、見守りサービスなどを社会実装する際に必ず検証されるべきこと、つい見逃されがちなこと。あらゆる新技術や新サービスをローンチする際に必要な知識を学べます。成功事例・失敗事例をなぞるのではなく「自社に置き換えたらどうなるか」を深く考えていただきます。

### 3 気づきをアウトプットすることで学びが深まる

講義を通じて得られた気づきを参加者にそれぞれに発表してもらう時間を設けます。一方的なレクチャーを行うのではなく、受講者が自ら言語化する体験を通じてより深く学びが定着することを狙います。そして、志向倫理に基づいて、技術の社会実装を考えることを目指します。

#### <講師紹介>

#### 村上 恭一 氏

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授  
協創&競争サステナビリティ学会理事  
価値創造フォーラム 21 顧問

神戸大学大学院 経営学研究科 博士課程修了（日本企業経営専攻）／ 青山学院大学大学院 法学研究科 修士課程修了（ビジネスロー専攻）。上記役職以外に大学の産学連携機構職員や大学設立の研究所職員・企業経済団体の顧問などや企業での教育研修等に多数携わっている。経営と知財の複合領域において、人事人財育成を主とした創新研究が関心領域。



# プログラム

日本企業からイノベーションが起きない理由は、オーバーコンプライアンスによって、技術者が委縮していることだと考えます。そこで重要になるのが「志向倫理」です。従来型の予防倫理（規範倫理）は、事故・けが・危険が起きないように予防するのが技術者の倫理であると考えます。「志向倫理」すなわち社会をこうしたいという姿をめざして考えを巡らせる重要性を学びます。

## 第1回 2024/1/11(木) 13:30～16:30

### IoT 技術と社会

IoT 技術を社会に実装する時の勘所について、見守りサービスを例に対話を通じて考えていきます

## 第2回 2024/1/25(木) 13:30～16:30

### 自動運転自動車の 社会実装

自動運転自動車を社会に実装する時の勘所について、対話を通じて考えていきます。

#### Point

自動運転自動車を作る計画のない企業にとっては意味のないテーマかというそんなことはありません。自動運転自動車をモデルとして、参加者との対話によって、どういう倫理的な問題が存在するのかをあぶりだしていきます。そこでの気づきこそが学びです。これが「ケース」で考えるという意味です。

## 第3回 2024/2/8(木) 13:30～16:30

### AI 技術と社会

AI 技術を社会に実装する時の勘所について、バーチャルサービスを例に対話を通じて考えていきます。

## 第4回 2024/2/22(木) 13:30～16:30

### brain-computer interface と社会

新技術を社会に実装する時の勘所について、brain-computer interface を例に対話を通じて考えていきます。

## 第5回 2024/3/7(木) 13:30～16:30

### Privacy by Design

新技術を社会に実装する時の勘所について、健康管理サービスを例に対話を通じて考えていきます。

#### Point

「プライバシーデザイン」は、ISO の規格にも含まれた今、デジタル機器を使って位置情報などの個人情報を収集する場合には避けては通れません。健康管理サービスのアプリを例に、参加者全員で対話してデジタルと倫理の勘所を養っていくことが狙いです。現代は、社会人に対し一方的なレクチャーを行う時代ではないと思いますので、本コースでも対話を通じた講義を実施します。

## 第6回 2024/3/21(木) 13:30～16:30

### 技術と社会

倫理的・法制度的・社会背景 (ELSA) を踏まえた責任ある研究 (RRI) における志向倫理での考え方について対話を通じて考えていきます。



# お申込みについて

定員になり次第、申込受付を終了します。お早めにお申込みください。

1



パソコン(各種検索サイト)から直接で

JMA デジタル技術と倫理

または

セミナーID(半角数字)

JMA 152307

で検索

もしくは、<https://school.jma.or.jp/>

2



スマートフォン・  
タブレットから



※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方は、JMAマネジメントスクールまでお電話(03-3434-6271)にてお問合せください。

## 受講料

参加費(税込)	一般社団法人日本能率協会法人会員	左記会員外
通常申込	198,000円／1名	231,000円／1名
早期申込割引 2023年11月30日※締切	165,000円／1名	198,000円／1名

※本事業開催時の消費税率を適用させていただきます。

※法人会員ご入会の有無につきましては、右記HPにてご確認ください。 <https://www.jma.or.jp/membership/list/>

## 定員

24名(1社2名様までとさせていただきます)

## 会員制度のご案内

小会は法人を対象とした会員制度を設けセミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。詳しくは関西事務所までお問合せください。

## キャンセル規定

参加予定の方のご都合が悪い場合は下記のキャンセル料を申し受けますのでご了承ください。  
なお、キャンセルの申し入れは文書(メール・お問合せフォームを含む)をお送りください。

開催30日前(開催日を含まず起算)～8日前	受講料の10%
開催7日前(開催日を含まず起算)～前日	受講料の50%
開催日当日	受講料の全額

## ご注意

- 参加申込規定はお申込ページにございますので、ご確認・同意の上、お申してください。
- 同業他社からのご参加はお断りする場合があります。
- 参加者数が最少催行人数に達しない場合は、延期もしくは中止にさせていただく場合がございます。

### 申込に関する問合せ先 (参加証・請求書・キャンセル・変更 等)

**JMAマネジメントスクール**  
**TEL:03(3434)6271**

電話受付時間 月～金曜日9:00～17:00 ただし祝日を除く  
メール:seminar@jma.or.jp FAX:03(3434)5505

### 企画に関する問合せ先 (プログラム内容、会員入会 等)

**一般社団法人日本能率協会**  
**DX推進セミナー事務局**

〒530-0001  
大阪市北区梅田1-8-17 大阪第一生命ビルディング6階  
TEL:06(4797)2050(関西事務所内)  
メール:dx@jma.or.jp



一般社団法人日本能率協会  
JAPAN MANAGEMENT ASSOCIATION

日本の経営革新

×  
学びと成長



日本能率協会(JMA)は、企業経営の要である「ひと」の力を最大にすることを通じ、新たな経営・組織づくりに貢献します。  
社長・役員向けプログラムのほか、次世代経営者・幹部育成のための長期プログラム、役職別の能力開発研修、人事・教育、マーケティングなど専門領域のスキルアップ研修など年間2,000本以上の公開型研修を開催しています。  
また、企業・自治体・学校に向け、個別課題解決支援を行っています。

## JMAが選ばれ続ける4つの理由

- 1 現場課題に合わせたプログラム内容
- 2 実践力のつく演習
- 3 研修結果を継続させる仕組み
- 4 多様な業界、業種と交流